

第 3 回 大和北道路有識者委員会

議 事 要 旨

1 . 日 時 平成 1 4 年 1 2 月 2 日 (月) 1 4 : 0 0 ~ 1 6 : 2 0

2 . 場 所 春日野荘 2 階 飛鳥の間

3 . 出席者

委 員 長	近畿大学商経学部経済学科	教授	斎藤 峻彦
委 員	京都大学大学院工学研究科	教授	飯田 恭敬
	京都大学大学院工学研究科	教授	小林 潔司
	奈良女子大学	名誉教授	近藤 公夫
	(財)元興寺文化財研究所	所長	坪井 清足
	神戸大学大学院法学研究科	教授	山下 淳

(五十音順)

4 . 議 事

前回委員会の論点について、内容確認を行いました。

- 第 2 回有識者委員会の議事要旨

大和北道路 P I プロセスの進め方について事務局が説明しました。

- 大和北道路 P I プロセスの進め方 (案)
- 大和北道路 P I プロセスの意見把握の進め方 (案)

上記に関して次のような意見がありました。

- ・ シンポジウムが形式的なものにならないようにするべき
- ・ アンケート案については、委員会で十分議論できるようにすること

大和北道路の P I プロセスの事前周知及び意見把握について事務局が説明しました。

- 大和北道路 P I プロセスの周知や意見把握のための手法一覧 (案)
- 大和北道路・シンポジウム (案)

上記に関して次のような意見がありました。

- ・ H P、ヒアリング、相談所の設置等を講じ、双方向のコミュニケーションを図るように努力すべきである
- ・ シンポジウムは、アンケートの実施前に周知の徹底、住民意識の向上を目的

に行うべき。多様な意見聴取のためには、例えばヒアリングなどの対話の機会を設けていることを周知すべき

- ・パネリストとしては、各委員からパネリストの推薦を頂き、次回概要を決定
- ・意見の収集にあたって事務局の役割を明確にすること

大和北道路に対する配慮事項について委員長説明後、各委員からも補足説明がありました。

- ・配慮事項については、議論を深めるため、各委員からの補足説明も含め必要と思われる事項については、追加すること。
- ・これらの配慮事項等を踏まえ、委員長と相談しながら、事務局でルート・構造（案）について検討し、次回委員会で議論することとなりました
 - 大和北道路に対する配慮事項

その他

パンフレットについては各委員の意見を踏まえて、委員長了解後、配布を始める

以 上